

寿都湾

議会だより



令和7年 第4回定例会

令和7年第4回定例会は12月18日招集され、片岡町長の就任あいさつ後、議長の諸般報告で、大串伸吾議員から令和7年10月16日に辞職願が提出され、同日許可されたことが報告されました。

また、会期については、22日までの5日間と定め、町長の行政報告の後、意見案1件、条例の改正5件、単行議案1件、令和7年度各会計補正予算6件を審議し、一般質問を行い同日閉会しました。

行政報告

合に係る次期施設整備の概要について】

【水産漁獲高、主要作物作柄及び風力発電事業の状況並びに南部後志衛生施設組



片岡春雄 町長

最初に、令和7年の漁協の水揚げ状況についてであります。市場取扱高は、9億3千800万円で、前年同期と比較して2億1千700万円の減であり、計画目標に対し80パ

セントで推移しております。主要魚種の状況であります。ホツケは、生産量で前年対比33パーセントの738トナ、生産高は前年対比46パーセントの1億円であり、イカナゴについては、生産量で25トン、生産高で3千900万円となりております。

秋サケにおいては、生産量で前年対比105パーセントの74トン、生産高は前年対比148パーセントの1億円であります。ナマコについては、生産量で前年対比103パーセントの70トン、生産高は前年対比75パーセントの2億3千800万円、ホタテは、生産量で前年対比96パーセント

No. 208 令和8年2月
発行／寿都町議会
編集／広報編集委員会

寿都町字渡島町140-1 (議会事務局)
TEL 0136-62-2511 / FAX 0136-62-3431

祝令和8年寿都町二十歳の祝い



1月11日に寿都町二十歳の祝いが行われました。

ントの30トン、生産高は前年対比146パーセントの2千800万円となりました。漁業生産全体の推移につきましては、生産量で前年対比64パーセント、生産高は前年対比81パーセントであります。異常気象による海況の悪化や好不漁の変動が激しいことなど、水産業を取り巻く環境は依然として厳しい状況となつております。次に、今年の主要作物の作柄状況について報告いたします。

馬鈴薯は、培土の時期などの工夫により、品質及び収穫量は昨年度より向上しております。長芋においても、品質及び収穫量は昨年度より向上しております。

水稻においては、品質及び収穫量は昨年より落ち込みましたが、全体的な作柄状況は、昨年を上回る状況となつております。

次に、風力発電事業の運転状況であります。御承知のとおり、風力発電収入は町の自主財源を確保する上で大きな役割を担つております。事業の円滑な推進とともに地域振興に大きく寄与しているところであります。

令和5年度から、寿都第5、第6風力発電所の運転を開始しておりますが、寿

の都第1及び第2発電所は、令和6年2月をもって固定買取制度いわゆるFIT法の買取期間が終了し、大幅な減収となり、また、ゆべつのゆ風力発電については、稼働26年を超えて、部品等の調達が困難なことから、本年度解体しております。

こうした状況下、全般的に風況も思わしくないことも影響し、ゆべつのゆ風力発電所を除いた、12台の風車の今年3月から11月までの稼働状況は、前年度同時期の比較で、発電量は約2パーセント減少、売電金額では4千573万円の減収となっています。

しかしながら、これから冬期間にかけ、良好な風況が見込まれる時期となることから、風力発電の適正な保守管理を行うとともに、より一層設備の管理に努め、風力発電事業を健全に経営していくよう努めてまいります。

次に、南部後志衛生施設組合より、次期施設整備について、概要が示されましたので、御報告いたします。

現在稼働している南後志清掃センターの各施設については、施設の老朽化が進み、安定かつ効率的なごみ処理を図る観点から、今後施設の施設の整備方針につい

◆国土強靭化に資する道路の整備等に関する意見書………原案を決行つております。また、広域処理にあたつては、住民の方々の利便性等を考慮し、ごみの受入が可能な中継施設を現施設敷地内に整備する方針としております。施設整備の概要といたしましては、不燃ごみや大型ごみを処理する粗大ごみ処理施設と旧不燃物施設を解体し、その跡地に可燃ごみと不燃ごみの中継施設を整備します。また、現在の可燃ごみの焼却処理施設を解体し、既存の資源ごみ保管施設を整備し、既存の資源ごみ保管施設をごみ袋等の倉庫として利用する計画であり、令和14年度より岩内地方衛生組合へ広域処理委託を行う方向で進めております。整備期間は、仮設の中継施設整備を含め、令和10年までであります。

から令和20年の10年間を想定し、概算の建設・解体等の事業費は、37億1千600円程度を見込んでおります。
財源といたしましては、循環型社会形成推進交付金3分の1と起債については、一般廃棄物事業債又は過疎対策事業債を予定し、起債対象外経費等の一般財源の確保と施設整備に伴う負担費用の平準化を図る観点から通常の負担金とは別枠で、令和8年度より3か町村で令和15年間5千万円程度の積立が必要との試算がでております。
主な施設の整備時期につきましては、中継施設が令和15年度から、資源ごみ保管施設が令和19年度となつております。令和14年度からの広域処理委託開始時は、既存施設等を改修した仮設中継施設で運営する方向で進めております。
以上、行政報告とさせていただきます。

審議した案件

条例の改正

◆国土強靱化に資する道路の整備等に関する意見書：

……原案可決
(全會一致)

(全会一致)

◆寿都町定住促進住宅設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例

・ 総務費 (特産品取扱等業務委託料ほか)	3 億 2 千 140 万 3 千円増
・ 民生費 (物価高対応子育て応援手当交付金ほか)	36 万 6 千円増
・ 衛生費 (簡易水道事業会計繰出金ほか)	

- ◆職員の給与に関する条例の一部を改正する条例……原案可決
- ◆寿都町会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例……（全会一致）

8年1月31日をもって満了となるため、引き続き指定管理業者として、ようてい農業協同組合を指定するものです。

◆特別職の給与額及び旅費額並びにその支給方法に関する条例の一部を改正する

◆公の施設の指定管理者の 指定……………原案可決

・消防費 寿都支署費負担金 512万5千円増	給与ほか 47万9千円増
・教育費（会計年度任用職員給与ほか）34万7千円増	◆令和7年度寿都町簡易水道事業会計補正予算（第3号）
◆令和7年度国民健康保険事業特別会計補正予算（第1号）	◆令和7年度寿都町公共下水道事業会計補正予算（第1号）
（全会一致）原案可決	（全会一致）原案可決
予算総額に20万9千円を追加し、総額を4億3千100万9千円とするものです。	●収益的収入及び支出 ・修繕料ほか
◆令和7年度介護保険事業特別会計補正予算（第2号）	◆令和7年度寿都町公共下水道事業会計補正予算（第1号）
（全会一致）原案可決	（全会一致）原案可決
予算総額に47万9千円を追加し、総額を4億4千296万6千円とするものです。	●収益的収入及び支出 ・職員給与費ほか
◆補正の主なもの ・総務費（会計年度任用職員給与ほか）20万9千円増	（全会一致）原案可決
（全会一致）原案可決	（全会一致）原案可決
予算総額に27万7千円増	●収益的収入及び支出 ・職員給与費ほか
◆令和7年度寿都町風力発電事業会計補正予算（第1号）	（全会一致）原案可決
（全会一致）原案可決	（全会一致）原案可決
予算総額に27万7千円増	●収益的収入及び支出 ・職員給与費ほか

これらの独自性や優位性を生かしながら将来にわたつて持続可能な活力ある北海道の実現を目指しています。
しかしながら、本道の道路を取り巻く環境は、高規格道路におけるミッキングリンクをはじめ、自然災害に伴う交通障害、幹線道路や通学路における交通事故、道路施設の老朽化など多くの課題を抱えています。
こうした課題を解消し、人流・物流の効率化による生産性向上及び国際競争力の強化や、激甚化・頻発化する大規模災害に備えた強靭な地域づくりを進めるためにも本道の骨格を形成する高規格道路から身近な市町村道に至る道路網の整備や老朽化対策などを着実に推進するとともに、積雪寒冷地である本道では、安定した除雪体制の確保など、冬期間の住民の安全・安心を確保することが必要であります。
そのため、地方財政が依然として厳しく、また資材価格の高騰や賃金水準の上昇に対応する中でも、必要な道路整備や除雪を含む維持管理を長期安定的に進めるための予算を確保することが重要であります。
よって、国においては、かした魅力的で質の高い観光資源といった数多くのポートフォリオを有しております、北海道は、豊かな自然、

溝沿いの巨大地震や気候変動に伴い激甚化・頻発化する自然災害への対応のほか、令和6年能登半島地震の教訓なども踏まえ、高規格道路から市町村道に至る道路網の整備や老朽化対策、除排雪の充実確保などについて特段の措置を講ずるよう強く要望します。
1 山積する道路整備の課題に対応しながら計画的に層推進するため、次の事項について特段の措置を講ずるよう強く要望します。
2 第1次国土強靭化実施中期計画に基づく橋梁、トンネル、舗装等の老朽化対策や無電柱化などを着実に進めるために今後の資材価格・人件費高騰等の影響を適切に反映した必要な予算・財源を確保すること
3 人流、物流の活性化による生産性向上に向けた高規格道路のミッキングリンクの解消や、高規格道路と直轄国道の連携によるダブルネットワークの構築、暫定2車線区間の4車線化や耐震補強等の機能強化など、国土強靭化に資する災害に強い
道路ネットワーク整備を促進すること
4 令和7年度より舗装補修の対象範囲が拡充された緊急自然災害防止対策事業債の延長を含めた地方財政措置制度の充実を図ること
5 冬期における安全な道路交通の確保、通学路などの交通安全対策の推進など、地域の暮らしを支える道路整備や除排雪を強化を図ること
6 災害発生時の迅速かつ円滑な復旧等のため、北海道開発局及び各開発建設部の人員体制の充実・強化を図ること

行政 片岡町政の公約実現について



ここが聞きたい

一般質問

第4回定例会での一般質問では4名の方から5項目について質問がありました。

■質問 片岡町政第7期目がスタートしました。これまで片岡町長は、10月17日開催の寿都町長選立候補予定者討論会、かたお

か後援会の討議資料のしおり、寿都広報12月号にて「これから寿都町」などで、持続可能な「稼ぐ」まちづくりを公約しています。つきましては、短期・長期にわたる公約実現に向け

ての見通しについてお伺いいたします。

●町長

私は7期目の町政の公約として、1点目が地域資源を活用した産業の充実、2点目が保険・医療・福祉の充実、3点目が生活環境の充実、4点目が教育と文化の充実、5点目が行財政の充実を掲げさせていただき

ゆべつのゆも建築して30年になり、改修時期を迎えており、また、簡易水道の老朽対策や南部後志衛生施設組合の施設整備計画など、多額の支出が見込まれる状況であります。

現状の住民サービスを維持し、持続可能なまちづくりを推進するには、現在取り進めている地層処分に係る交付金や岩宇・南後志地

ということで財政の問題でありますけども、後の質問に出てくるかもしれませんけど、人口減少を少しでも抑えるために、各産業がいかに稼ぎ、後継者につなぐことが重要であるということでありまして、後継者がどのようにして育つていけるか。そういうことについて、意見があればお願いをいたしたいと思います。

それと、浜市市場の再開について、これ後で質問に出てくるかもしれませんけど、五つの団体で協議をして異業種交流会で再開に向けているということございま

計画の中でもまだ実行に移されてないのは、潮路小学校の大規模改修事業ということで、これは3年間で約3億という見通しであったと思いますけど、潮路小学校の大規模改修は来年度あるいは、更に後の方でそういうふたつた改修をする必要が実際あるのか、どうなのか。それと、ゆべつのゆの大改修というんですけど、これは来年度から実施していくのか。大体どのぐらいの経費が掛かるのか、その点についてよろしくお願ひします。

うし、それにはやはり、ここに企業が進出するといふことが、何らかの魅力がなければ進出ができませんので、財源も含めてですねこの点についても現在も議論を進めているところでありますので、具体的な話を聞いては、これからも進めていきたいというふうに考えております。

程度の財源を見ながら、小規模、本当は大規模なんですが、すけれども、財源の中で進めているのが現状であります。して、これ、まともに一挙にやるつていつたら、10億だとか、そのくらいの金額にもなりますし、温泉一つとってもですね、大改修するということになると長期間休んで改修をしなきゃならない、これについても、億単位の金も掛かりますし、小学校の改修についても、それなりの財源が必要になつてくると、そうなつてくると今の財政状況でやつてくることになりますと、今進めている既存のサービス、それを削つてですね、やらなきやならない場合も出てくるでしょうし、そういう意味では今

らないとの思いから、町営風力発電事業にチャレンジし、また、ふるさと応援寄附金事業を水産加工業社と戦略的に取り組み、収益を得ることで各種事業に取り組むことができました。

しかし、近年の気候変動による異常気象で、4年前から風が弱く令和4年から令和6年までの3年間で、風車の売電収入が約4億2千万円減少している状況です。

■再質問
1点目は、人口減少対策についてですけど、これは立候補予定者討論会の中で、人口減少の一つの考え方として、ニセコエリアの住宅家賃の高騰を耳にしますが、「磯谷地区は1時間で通える通勤圏であり、ベッドタウンの可能性を検討する価値はあります。」ということを述べられておりました。この点についての考え方をお願いいたします。

いるのか、その辺のこともお願いしたいと思います。

それと、令和5年4月に財政中期見通しという中で、いろいろな特に普通建設事業につきまして、計画をされております。その中で既に寿海荘・看護師住宅・港団地の改修、文化センター大規模改修これは一部で今後も必要かと思いますけども、そのほかについて、文化センターの大規模改修、今後更に必要かと観察をしたときに感じましたので、この点について来年度以降どの程度改修をし

考え方ということで、これ
ニセコ圏・岩内圏も含めて
ですね、今の状況を精査し
ながら、可能性を探つてま
いりたいなというふうに思
います。

また、2番目の産業振興、
人口減少と産業振興の関係
性といいますかね、やはり
産業なくして人口減少は防
げないということで、既存
の各種産業の底上げをどこ
までできるか。

もう一つは新たな産業を
育てるにしても、当然民間
企業との連携も必要でしょ

なという話も出ておりまして、それで、そういう人材も含めてなるべく早い時期に方針が出るよう、取り進めでまいりたいと思います。

また、財政見通しの中で、今、友山議員から御指摘の文化センター、ゆべつのゆの改修、潮路小学校の改修、また、先ほど清掃センターの話は、今出ておりませんでしたけれども、清掃センターの基金積立含めてですね、相当の財源が必要になつてまいります。その中で今文化センターはあ

場合も出てくるでしょうし、そういう意味では今、取り組んでおります最終処分の関係、それから洋上風力の関係というのは、まちづくりに相当有効な財源と、いうふうに考えておりますので、トータル、財源も含めて、具体的に精査しながら進めてまいりたいというものが、私の今の考え方でございます。

町民の皆様が利用してい
る文化センターや寿都温泉

方をお願いいたします。

したので、この点について来年度以降どの程度改修をし

育てるにしても、当然民間企業との連携も必要でしょ

になつてまいります。その
中で今文化センターはあそ

るの

うし、それにはやはり、ここに企業が進出するということが、何らかの魅力がなければ進出ができませんので、財源も含めてですね、この点についても現在も協議を進めているところでもありますので、具体的な話については、これからも進めていきたいというふうに考えております。

浜直の再開でありますけれども、今、異業種交流の中で議論はしているんです
が、核になるリーダー、このリーダーなくしてなかなか浜直の再開、この浜直だけじゃなくて道の駅、また、ゆべつのゆも含めてですね、これを取り仕切るリーダー

程度の財源を見ながら、小規模、本当は大規模なんですが、それとも、財源の中で進めているのが現状でありますので、これ、まともに一拳にやるつていつたら、10億だとか、そのくらいの金額にもなりますし、温泉一つとってもですね、大改修するということになると長期間休んで改修をしなきやならない、これについても、億単位の金も掛かりますし、小学校の改修についても、それなりの財源が必要になつてくると、そうなつてくると今の財政状況でやつてくるということになると、今進めている既存のサービス、それを削つてで

の大規模化を避けることや、水素の高効率な長期貯蔵が可能な技術も加味しながら、水素の製造と風力事業を一體化した次世代エネルギー促進事業が、国策的にも本町にとつても、最も望まれるエネルギー政策ではないかと考えています。

小さな自治体が一定規模の事業を展開するためには、国と連動した事業化が必要であり、留意点として、国がまだ実証事業をして取り組んでいない、これから研究が必須の事業であり、产学・官が協働できる事業を寿都らしいデザインにして提案することが重要です。前定例会でも紹介した広島大学が研究実証している、熱化学サイクルによるテクノケミカル方式で、町の再生エネルギーを活用した次世代エネルギークリーン水素の製造事業に取り組むことが最適だと私は現時点での結論に至つております。

そこで広島大学の斎藤健一教授研究グループに連絡をし、資料をお願いしたところ、斎藤教授からわざ電話連絡を頂き、資料も送付して頂きました。

現在広島大学では、今の研究実践事業設備を100倍にスケールアップした装置を、来

年の3月頃には完成する予定になつてゐるところです。

前定例会で私の質問に、町長は水素をつくるだけではなく「運ぶ」「貯める」「使う」サプライチェーンの構築が課題であり、水素事業も選択肢の一つとして、先進事例の事情を得ながら、引き続き検討するとの答弁をしていただきました。

水素を「貯める」一つの方法として、清水建設が開発実証済みとして、タンク内部の板材に水素を多量に貯める方法や「使う」例として三菱重工業の水素専門燃焼ボイラーより、東宝株式会社で実証済みにしているように、小規模火力発電所の稼働方式を採用すれば、本町が将来に向けての企業誘致事業として、大いに期待を持つるモデル事業として、新しい産業の基盤構築が実現するに至ります。

本町のC02フリーエネルギー政策に位置付けられた事業として、新産業創出として、陸上養殖水素事業、植物工場、データセンターが計画されており、多くの電力供給が予想されています。

1点目、気候変動の影響を受けない、海水を利

用できれば産業構造としては最も経済効率が良く、企業誘致と水素エネルギーの消費が一体化することを、今後の計画として念頭に置くべきだと考えています。

私は、水素を現地で生産し、現地で新しい産業で消費できれば産業構造としては最も経済効率が良く、企業誘致と水素エネルギーの

消費が一体化することを、今後の計画として念頭に置くべきだと考えています。

既に多くの方法が確立され

ています。

私は、水素を現地で生産

し、現地で新しい産業で消

費できれば産業構造としては最も経済効率が良く、企業誘致と水素エネルギーの消費が一体化することを、今後の計画として念頭に置くべきだと考えています。

「ぼくでんグループ」経営ビジョン2035では2030年度までに100万キロワット以上、2035年までには300万キロワット以上の電力の増強を計画しており、天候に左右されない電力コントロールのできる火力の確保を行うと、先般後志地域の住民にお知らせを配布し公表しています。

本町のC02フリーによるエネルギークリーンでも、新産業創出として、陸上養殖水素事業、植物工場、データセンターが計画されており、多くの電力供給が予想されています。

そこで、町長に質問します。

既に多くの方法が確立され

ています。

私は、水素を現地で生産

し、現地で新しい産業で消

費できれば産業構造としては最も経済効率が良く、企業誘致と水素エネルギーの消費が一体化することを、今後の計画として念頭に置くべきだと考えています。

2点目、町長が日頃より「稼ぐ町政」を掲げ、企業誘致を進めるとの政策を推進していますが、今まで述べた提案がまちのエネルギー政策の一環として、新たな国策事業の具体的な事業政策に位置付けられた事業とす

ることも可能な「稼げるプラン」だと思いますが、国との情報交換等を密にしている

国策事業として、新産業創出として、陸上養殖水素事業、植物工場、データセンターが計画されており、多くの電力供給が予想されています。

そこで、町長に質問します。

既に多くの方法が確立され

ています。

私は、水素を現地で生産

し、概要調査への準備も完了していると願いますし、町長選も終わり、残り4年間で将来の確かなエネルギー政策を確立することが望まれているところです。

3点目、文献調査が終了し、概要調査への準備も完了していると願いますし、町長選も終わり、残り4年間で将来の確かなエネルギー政策を確立することが

望まれているところです。

国策と連動した一般財源での水素事業の実施が実現できない場合は、概要調査の交付金が、その代替財源になりますが、その点について町長の見解をお願いします。

新規事業にいくには、なんとしても一つ、一歩踏み出す力が大変、大切だと思います。是非町長もいろいろ頭を悩ます時点だと思いますが、この視察等についての予算も含めて、是非

新規事業にいくには、なんとしても一つ、一歩踏み出す力が大変、大切だと思います。是非町長もいろいろ頭を悩ます時点だと思いますが、この視察等についての予算も含めて、是非

新規事業にいくには、なんとしても一つ、一歩踏み出す力が大変、大切だと思います。是非町長もいろいろ頭を悩ます時点だと思いますが、この視察等についての予算も含めて、是非

新規事業にいくには、なんとしても一つ、一歩踏み出す力が大変、大切だと思います。是非町長もいろいろ頭を悩ます時点だと思いますが、この視察等についての予算も含めて、是非

新たな産業の創出は、まちの財源確保にも寄与する観点も踏まえながら、しっかりと取り組んでまいります。

新たな産業の創出は、まちの財源確保にも寄与する観点も踏まえながら、しっかりと取り組んでまいります。

新規事業にいくには、なんとしても一つ、一歩踏み出す力が大変、大切だと思います。是非町長もいろいろ頭を悩ます時点だと思いますが、この視察等についての予算も含めて、是非

新規事業にいくには、なんとしても一つ、一歩踏み出す力が大変、大切だと思います。是非町長もいろいろ頭を悩ます時点だと思いますが、この視察等についての予算も含めて、是非

新規事業にいくには、なんとしても一つ、一歩踏み出す力が大変、大切だと思います。是非町長もいろいろ頭を悩ます時点だと思いますが、この視察等についての予算も含めて、是非

新規事業にいくには、なんとしても一つ、一歩踏み出す力が大変、大切だと思います。是非町長もいろいろ頭を悩ます時点だと思いますが、この視察等についての予算も含めて、是非

新規事業にいくには、なんとしても一つ、一歩踏み出す力が大変、大切だと思います。是非町長もいろいろ頭を悩ます時点だと思いますが、この視察等についての予算も含めて、是非

新規事業にいくには、なんとしても一つ、一歩踏み出す力が大変、大切だと思います。是非町長もいろいろ頭を悩ます時点だと思いますが、この視察等についての予算も含めて、是非

【総務常任委員会所管事務調査を実施】

第3回定例会において承認された、総務常任委員会の町内所管事務調査を11月7日に実施し、調査事項を「寿都保育園の運営状況について」と設定し、寿都保育園の運営状況と課題等について、担当職員から説明を受け、質疑を行いました。

調査結果としては、現在、待機児童がない状況であり、アプリを活用した情報発信など保護者も安心できる保育園運営がなされていました。今後は、職員の高齢化等による人材不足が予測されるところから保育士の確保など喫緊の課題がありますが、これからも引き続き町民のニーズに応じた保育園の運営が望されます。

※令和7年第4回定例会にて、調査報告書を提出しています。



【産業常任委員会所管事務調査を実施】

第3回定例会において承認された、産業常任委員会の町内所管事務調査を11月7日に実施し、寿都保育園改修並びに外構工事及び文化センター大規模改修工事の完了箇所及び現在工事中の施工状況について、担当職員出席のもと現地において調査を行い、施工状況は良好であると確認しました。

◆調査対象施設等

- 1) 令和6年度完了済 寿都保育園外構工事
- 2) 令和6年度完了済 寿都保育園改修工事
- 3) 令和7年度完了済 寿都保育園改修工事
- 4) 令和6年度完了済 文化センター大規模改修工事
- 5) 令和7年度施工中 文化センター大規模改修工事その1
- 6) 令和7年度施工中 文化センター大規模改修工事その2

※令和7年第4回定例会にて、調査報告書を提出しています。



議会日誌

令和7年10月29日以降

10月

29日 後志管内町村議会議長会研修（札幌市 小西議長）

11月

7日 総務・産業常任委員会町内所管事務調査（全議員）

10～13日 後志管内町村議会議長会中央要望（東京都 小西議長）

第69回町村議会議長全国大会（東京都 小西議長）

17～18日 監査委員協議会研修会（札幌市 早瀬監査委員）

20日 例月出納検査（早瀬監査委員）

25日 南部後志衛生施設組合議会 第1回臨時会（小西議長、川地議員）

26～28日 南部後志町村議会正副議長会中央要望（東京都 小西議長、石澤副議長）

12月

3日 令和7年度寿都町功労者表彰式（全議員）

11日 議会運営委員会（木村委員長、友山副委員長、川地委員、吉野委員、小西議長）

18日 第4回定例会・全員協議会・議会懇談会

23日 例月出納検査（早瀬監査委員）

岩内・寿都地方消防組合 第2回臨時会（岩内町 石澤副議長）

25日 南部後志衛生施設組合議会 第2回定例会（小西議長、川地議員）

南部後志環境衛生組合議会 第2回定例会（黒松内町 越前谷議員）



第69回町村議会議長全国大会

1月

4日 令和8年 新春初セリ式（小西議長ほか）

5日 寿都消防団出初式（小西議長ほか）

11日 漁業報告祭・船魂祭（小西議長ほか）

二十歳の祝い（小西議長）

20日 例月出納検査（早瀬監査委員）



南部後志町村議会正副議長会中央要望

※3月に定例議会が開かれます。お気軽に傍聴にお越しください。